

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続的可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 夏休みこども村

JA名 さいたま（埼玉県）

1 動機 （経緯）	豊かな自然環境を有する県外の農村地域において親元を離れ、農業収穫体験や野外の集団活動など体験を通じて、こころの成長や農業・食に対する理解を促進し、次世代を担う子どもたちに対する地域が一体となったJA食農教育活動の広がりをめざすため「夏休みこども村」を実施します。
2 概要	群馬県片品村で2泊3日のカリキュラムを実施しました。 1日目：つめっこ作り体験・川遊び・ニジマスつかみ取り・じゃがいも収穫体験 カレーライス作り・ナイトハイキング（蛍の鑑賞） 2日目：トマト収穫体験・吹割の滝見学・ピザ作り・ブルーベリー収穫体験・ジャム作り・バーベキューの夕食・キャンプファイヤー 3日目：サマーリ्यूージュ体験・流しそうめん体験
3 成果 （効果）	参加児童は、親元を離れ、学ぶ意欲や自立心・思いやりの心や規範意識が養われるとともに、食や農の大切さなどを実感できます。 JAにとっては、参加児童の父兄など地域住民との交流が深まることで、各種の事業や活動を円滑に推進することが可能となります。また、参加児童の引率を通じて、リーダーシップを身につけられ、JAの職員教育の一環としても位置付けています。
4 今後の予定 （課題）	日頃家庭では経験のできないことを少しで経験してもらえるよう企画を検討しより良いものとし継続実施していきます。